



集大成の時期になりました

今年は124年ぶりに2月3日が立春になるそうです。「暦の上では春」とは言っても、風はまだまだ冷たく寒い日が続いています。しかし、窓から差し込む日差しには、少しずつ春の気配が感じられるようになってきました。栃木県でも緊急事態宣言が出され、気の抜けないう状態が続いていますが、お陰様で生徒たちは元気に学校生活を送っています。



学校では現在、今年度の取組を反省しながら来年度の計画を作成したり、来年度の入学予定者を招いての学校説明会を開いたり、来春に向けての準備を進めています。

生徒の皆さんには、今のクラスでの残りわずかな日々を、一期一会の気持ちで大切にしながら過ごしてほしいと思います。そして、このような状況下ではありますが、卒業・進級に向けて、さらに良い授業と良いクラスづくりに努め、有終の美を飾ってほしいと思います。

保護者・生徒アンケートから

保護者の皆様にはお忙しい中、保護者アンケートにご回答いただき、大変ありがとうございました。今回の結果は、ほとんどの項目について、ここ数年で最も良いものとなりました。臨時休校からのスタートや多くの行事の変更や中止など波乱の一年間でしたが、生徒の皆さんが友達と一緒に学べることの素晴らしさや人と繋がれることの有り難さなどを実感できる機会にもなったのではないかと思います。

◎今回、評価の特に良かったもの、向上しているもの

「北中の先生は生徒を大切にしていると感じる」、「北中の先生は相談しやすい」

「北中の先生の授業は分かりやすい」、「家族と一緒に食事をしている」

「学習・行事・部活動によく取り組んでいる」

○今回、評価の良かったもの

「行事・授業参観・各種たよりなどから学校の様子が分かる」

「家庭学習に取り組んでいる」

「誰一人疎外しない」「人の話をしっかり聴く」を基盤として「学び合い支え合う授業づくり」を中核に据えて学校運営に取り組んできましたが、それが北中の教職員にしっかり浸透し、多くの生徒がそれを実感として受け止めていることを嬉しく思います。

北中の教職員は全員、日々の授業改善や生徒の支援に本当に熱心に取り組んでおり、頭の下がる思いです。また、生徒たちも毎日の授業の中で、「学びの作法」を身に付けてきたように感じます。ただ、授業で分かったつもりでも定着させるには、復習することも必要です。学校でも、授業と家庭学習をつなぐ方策をさらに工夫していくつもりでいます。ご家庭での協力もよろしくお願いいたします。



「家族と一緒に食事をしている」の結果にあるよう、北中地区の保護者や地域の皆様は大変熱心で、協力的だと感じております。中学生ボランティアに登録している生徒も増えていきます。保護者・地域・学校の連携をさらに深める取組を強めていきたいと思っております。

学校からの情報発信に関しましては、たより等の充実や学校ホームページの改良などに取り組んでいきたいと考えております。

なお、アンケートの結果につきましては、詳しい集計結果が配付されます。是非ご一読ください。

小学6年生に進学説明会

1月22日（金）、4月に入学予定の小学6年生を対象に進学説明会を実施しました。現在、緊急事態宣言下であるため、本校の説明会の売り物とも言える「学び合いの授業体験」と「部活動見学」を残念ながら中止といたしました。感染症対策をした中で、新入生と保護者の皆さんに体育館で説明会のみを行いました。生徒指導主事の〇△☆★が中学校での生活や学習、部活動などについての説明をし、皆さんからの質問に答えました。緊張した面持ちでしっかりと話が聴ける新入生の姿が印象的でした。4月に元気に入學してくるのを北中の生徒・教師一同で心待ちにしています。



ALTコーナー

一月遅れの紹介になってしまい恐縮ですが、ALTの〇△☆★先生が、新年向けに掲示板を模様替えしてくださいました。中央に書かれたメッセージが、前途のある中学生に向けた素晴らしい言葉だと思い、紹介させていただきます。メッセージは次のような言葉です。

A new year is like a blank book.
The pen is in your hand. It is your chance
to write a new story for yourself.



生徒の皆さんは、どんなメッセージなのか読み解いてみてください。保護者・地域の皆さんも、来校の際には是非ご覧ください。